

# 平成 30 年度

# 事業報告書

社会福祉法人 ユーカリ福祉会  
たかすな保育園

〒251-0046

神奈川県藤沢市辻堂西海岸2-12-1

電話 0466-86-7676

FAX 0466-21-7362

平成 30 年度

## はじめに

平成 28 年度開園から 3 年、相次ぐ園長、副園長、主任の大きな異動が続き保護者の方からの不安の苦言を多々いただきましたが、職員一同毎日を一生懸命務めることで少しずつ信頼を得てこられた 30 年度になったと思います。しかしながら開園時からの職員が異動希望により新園へ移っていったことは職員はじめ保護者にとってさみしい別れとなってしまいました。

保育士の処遇改善を求める声が多く聞かれる今、その声に甘んじることなくスキルアップを目指し研修への参加を積極的に行い全体への周知をしていくことで園全体のレベルアップとなるような取り組みをすすめました。園内研修としての取り組みが時間の配分等ができず中途半端に終わってしまったことを反省し次年度もおこなっていきます。

子どもたちの健康面も、大きく体調を崩したり、けがをすることなく過ごすことができました。凸凹を作った園庭で遊んだり、歩き散歩で長距離を歩いたり戸外で過ごすことをたくさん活動の中に取り入れた結果、体力が付き体を上手に使えるようになりました。

保護者の方々とのコミュニケーションの中でお互いの思いを伝えあい、共に子育てをしている心のつながりが強くなってきました。

来年度は様々な取り組みへのお声かけしお力をお借りしさらにつながりを太くし、双方に思い出深い 1 年を送れるように日々を大切に過ごしてまいります。

毎年、たくさんのお入園希望をいただきます。次年度入園の見学希望が多く対応に追われる日々となってしまうので、日程を設けるなど工夫して対応していきます。

開園 3 年が過ぎ、新しかったはずの園舎が煤けてきてしまいました。いつまでもきれいな園舎でいられるように園舎内外の清掃、環境管理を徹底しなくてはいけないと反省しました。皆で心掛け取り組みます。

園児構成（月初在籍人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	9	18	20	22	22	22	113
5月	9	18	20	22	22	22	113
6月	9	18	20	22	22	21	112
7月	9	18	20	22	22	21	112
8月	9	18	20	22	22	21	112
9月	9	18	20	22	22	21	112
10月	9	18	20	22	22	21	112
11月	9	18	20	22	22	21	112
12月	9	18	20	22	22	21	112
1月	9	18	20	22	22	21	112
2月	9	18	20	22	22	21	112
3月	9	18	20	22	22	21	112

配慮を必要とする子どもの保育

・特別支援保育

5歳児クラス 2名

2歳児クラス 1名

・食物アレルギー対応児

5名

・摂食に配慮を必要とする子どもの保育

1名

## 園の目標

「豊かな心と丈夫なからだ」

「生きる力のある子ども」

- ・心身ともに健やかで、笑顔が輝く子ども
- ・自分で考え行動できる子ども
- ・自分を大切に、友だちを大切にできる子ども

## <子どもたちの幸せのための約束>

- ・やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てる
- ・自主性、主体性を育てる集団作りの中で、自分の目でみて、きめ細やかな養護、適切な助言  
家庭支援等、誠実な実践によって共に学び合う
- ・鋭い感性を持った創造的な芸術家としての子ども、深い慈愛を身につけようとする生活者としての  
子ども、その掛買いのない命が実現するよろこびを受容し、喜びと悲しみを共有していく
- ・身体的にも精神的にも社会的にも健やかな子ども達を育てる

上記の目標を掲げ、全職員心に刻み協力しながら丁寧な保育を心がけた。

## 年間行事報告

月	日	行事	保健関係
4月	2日	入園式	
	17日～	クラス別懇談会	
5月	14日	お茶会	
	19日		健康診断
	24日	引き渡し訓練	
6月	21日	幼児親子遠足	
	27日	交通安全教室	
	28日		歯科検診
	29. 30	5歳児お泊り保育	
7月	2日	プール開き	
	6日	七夕会	
	20日		健康診断
	31日	うた君(犬)を迎える会	
8月	25日	夏祭り	

9月	7日	プールじまい	
	14日	4歳児お泊り保育	
	25日	お月見会	
10月	13日	運動会	
	19日		健康診断
11月	8日		歯科検診
	12日	起震車体験	
	20日	人形劇	
12月	14日	なかよし会	
	26日	餅つき会	
1月	8日	新年会	
		芋煮会	
	19日		健康診断
	22日から	クラス別懇談会	
	31日	交通安全教室	
2月	1日	節分会	
	13日	お楽しみ会	
	15日	朗読会	
3月	12日	お別れ会	
	16日	卒園式	

\*誕生会、体重測定は毎月実施

#### 職員研修報告

藤沢市主催研修 10 講義、講習参加

保育センター主催 18 講義、講習参加

ユーカーリ福祉会全体研修

その他研修 3 講義

#### 工事改修

玄関セキュリティ交換

2歳児トイレ内マルチシンク取り付け

井戸水配管工事、水栓設置

防災倉庫設置

## 物品購入

ノートパソコン 3 台、デスクトップパソコン 2 台

## 職員会議

毎月 2 回ずつ乳児、幼児、リーダー会議、1 回ずつ職員会議、クラス会議、給食会議必要に応じて担当者会議、行事打ち合わせ、離乳食会議、パート会議など行い情報の共有化や保育の向上に向けた会議を行った。

## 地域交流

「わくわく広場」として平日園庭開放を行うと共に年 8 回ほど開放行事を行った。  
お茶会は年長児を対象に保護者の協力を得て、年 2 回実施した。  
陶芸はボランティアの協力を得て年長児が行い、年度末からは 4 歳児も行った。  
隣接する高齢者施設の利用者との交流を月 1 階幼児が行う。  
辻堂団地自治会のお祭りや催しに参加交流を図る。

## 一時預かり事業

登録者

利用者 延べ人数

## 広報誌、保育情報誌発行

月 1 回「園だより」「献立表」を発行

## ユーカリ文庫

玄関ホールに本棚を設置し園児向け、保護者向けの本の貸し出しを行った。  
年間 500 冊ほどの貸し出しがあった。

## 三者協議会の実施及び苦情受付

三者協議会年 2 回実施

苦情受付なし

## ボランティアの受付

次世代育成や保育士養成の一環として学生ボランティアを受け入れた

## 小学校訪問

小学校入学に向けて年長児が高砂小学校に学校見学を実施

#### 中学生の職場体験

明治中学校 6/20 5名

湘洋中学校 11/13,14 5名

高浜中学校 1/23,24 5名

#### 高校生のインターシップ受け入れ

8/6,7 3名受け入れ

#### 実習生の受け入れ

近隣の大学、専門学校からの実習生を年間通じて受け入れ

#### 地域との連携

藤沢市辻堂公民館主催事業に参加

#### 保健関係

毎月保育士による体重測定、年4回の身体測定を実施

#### 健康診断

小児科 年4回健診

歯科 年2回検診

#### 全園児を対象に5月尿検査を実施

#### 園児り患状況

4/2~4/7 肺炎のため入院 0歳児

4/29~5/6 気管支炎のため入院 2歳児

5/10 熱性けいれんのため入院

7/2~7/15 特発性血小板減少性紫斑病のため入院 1歳児

8/6~8/10 RSウイルスからの肺炎で入院 0歳児

8/19~8/28 EBウイルスの疑いのため入院 2歳児

8/24~9/5 川崎病の疑いのため入院 2歳児

9/19~9/22 喘息で入院 2歳児

9/26~9/28 喘息のため入院 2歳児

## 園児感染症

アデノウィルス (5/10、1名、6/28,29, 4名)

マイコプラズマ (8/8,1名、

RSウィルス (8/8,1名、8/13,1名)

耳下腺炎疑い (8/23, 1名+

## 園児の事故及び怪我

職員健康診断は平成30年7月より湘南徳洲会病院で実施した

## 防災、防犯

避難訓練 月1回 防犯訓練年10回実施

避難訓練はいろいろな想定で実施する

地震時の大津波に対応して隣接の高齢者住宅屋上への避難を依頼、訓練を年2回実施。

消防署との訓練を行い、通報訓練、消火訓練を行う。

保護者向けに「マチコミメール」を利用し災害時の情報発信を実施したが来年度よりストーリーパークでの発信を検討中。

## 平成30年度 避難訓練実施報告

月日	発生時間	種別	発生場所	避難場所	結果
4/20	9:15	火災	調理室	各保育室	放送による指示で素早く対応できた
5/24	15:15	警戒宣言 津波訓練	東海沖	園舎2階	保護者の協力もあり引き渡しまでの確認ができた
6/14	9:30	地震	相模湾沖	園舎屋上	屋上避難時の乳児のヘルプの確認をする
7/12,24,27	8:00	火災	近隣施設	園庭	早番時間の設定で臨機応変さを求められる
8/28	9:30	火災	近隣	2丁目公園	危機感なく移動する様子が見られることを反省
9/各クラス		地震	散歩先	近隣建物	散歩経路の再確認が必要



10/23	予告なし	火災	隣の施設	2丁目公園	職員の対応がバラバラになってしまう反省
11/12.24	9:00	地震火災	給食室	園庭	子どもたちが落ち着いて移動できるようになった
12/17	10:15	地震津波	東海沖	隣施設屋上	5階までの上がるスピード緊迫感必要
1/各クラス		津波	東海沖	散歩先	避難後の連絡ないクラスもあり徹底する
2/26	予告なし	火災	給食室	2丁目公園	真剣に取り組めるようになっている
3	クラスごと	地震津波	散歩中	近隣建物	電話の反応よく、素早く検討して避難できた

#### 平成30年度 防犯訓練実施報告

月日	発生時間	侵入場所	避難場所	結果
4/27	9:30	近隣に不審者情報	各保育室で待機	「水漏れ」合言葉確認
6/22	10:30	不審者園庭から侵入	各保育室待機	「どこからの水漏れ」の確認
7/25	15:30	刃物を持った不審者園庭から侵入	各保育室	侵入してしまったことから警察の通報も計画しておくべきだった
9/27	18:10	不審者	延長保育室	予告なしのクラスごとの想定だったが皆反応よくできた。
2/25	10:00	不審者	園庭	総まとめにもかかわらず連絡不足があり猛省すべき

#### 平成30年度 わくわく広場（地域交流）事業報告

6/5	クラスのみんなと遊ぼう
7/5	水や泥に触れて遊ぼう
8/3	水や泥に触れて遊ぼう
10/5	人形劇を一緒に見よう
12/5	クラスののみんなと遊ぼう
2/3	クラスのみんなと遊ぼう

園庭開放 年間 56 名

辻堂団地自治会文化祭 11月17日 年長児参加  
12月 年中組参加

平成30年度世代間交流事業報告（隣接高齢者住宅居住者との交流）

毎月1回 幼児代表のクラスがークラス訪問して、歌や踊り、伝承遊びなどを一緒に楽しんだ。

平成30年度給食事業報告

・給食内容「食の基本となる給食」「子どもの力を育てる給食」「思い出に残る給食」を基本とし、以下のことに留意し心掛けてきた

- ・食材や調味料は安全性が高く、可能な限り国産のものを使用する。
- ・旬の食材を豊富に使った一汁三菜の和食を中心としたバランスの取れた献立にする。
- ・出汁は活を削り、煮干しでとり、食材と出汁の味を生かして味付けは適度な薄さにする。
- ・食べる機会が少ない料理や食材を積極的に使用し、子どもの味覚の経験を深め、幅を広げる。
- ・調理保育や植物の栽培を通じて食べる意欲や心、食に関する興味を育てる。
- ・咀嚼力を育てるために歯ごたえのある食材を選び、切り方にも留意する。
- ・調理保育の実施

調理保育	食材とのふれあい
6月 梅干し作り (5歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イモ類の泥あらい</li> <li>・葉野菜を切る</li> <li>・かぼちゃの種とり</li> <li>・玉ねぎの皮むき</li> <li>・キノコ類をほぐす</li> <li>・もやしを切る</li> <li>・こめとぎ</li> </ul>
梅シロップ (4歳児)	
畑づくり (3, 4, 5歳児)	
田植え (3, 4, 5歳児)	
お泊り保育夕食 (5歳児)	
8月 梅としその天日干し (5歳児)	
赤しそジュース (4歳児)	
9月 お月見団子作り (3, 4, 5歳児)	
お泊り保育夕食作り (4歳児)	
トマトジュース (5歳児)	
10月 こめの収穫 (4.5歳児)	
蒸しパン作り (5歳児)	
干し柿づくり (4.5歳児)	
12月 切干大根作り (5歳児)	
はつか大根の葉で調理 (4歳児)	
餅つき	
1月 芋煮会	
2月 味噌づくり (4歳児)	

3月	きな粉棒作り	(4歳児)	
	芋餅づくり	(5歳児)	

#### 食物アレルギー対応

アレルギー 乳禁4名 卵禁4名 小麦粉2名

- ・基本的に献立に卵、乳、小麦粉は使用しない。

ノンエッグマヨ使用

#### \*実際の動き（乳・ゴマ）

- 1、毎日朝のおやつで牛乳を出すので、牛乳の代わりに麦茶を提供。あらかじめ用意していたコップにお茶を入れ、ラップをかけ専用のトレーに食札を置き提供している。
- 2、受け渡し前に職員二人以上でアレルギーの混入がないか確認する。
- 3、クラスではお盆セットされた食事を選べる。

#### ○非常食

水、食料、離乳食、粉ミルクを3日分倉庫に常備している。一年に一度九月の防災の日に備蓄、賞味期限の点検として倉庫の整理を行っている。

#### ○研修など

30年度も姉妹園での研修で他園の栄養士と意見交換することができ、献立の見直しやレパートリーを増やすことができた。

また、研修会では設備や衛生管理、アレルギー対応など、多岐にわたる話し合いができたので、これからも積極的に研修会に参加し、つながりをより大切にしていきたい。

#### ○家庭との連携 情報発信

毎日の給食実物展示、月1回の給食だよりの発行、保育参加時の給食提供など行ってきた保育参加週間時には講演会として「出汁」について作り方や味見などの実践を行った。

年度初めは不安や緊張から残食が見られ、夏の暑さによっても食欲が落ちたが、秋を迎えたころより喫食量も増え、年度末は全クラス喫食量の増加が見られた。

調理保育や食材とのふれあい、幼児（3歳児から5歳児）においてはランチルーム配膳を行ったことで食への意欲も見られ喫食量の増加につながったと考えられる。今後も旬に応じた季節感のある和食を基盤として洋食や中華などレパートリーを増やすことで、子どもたちの経験を深めていきたい